

ボランティアセンター だより

私たちができるさまざまなボランティア活動を楽しみながら取り組みます!



朝倉光陽高等学校の
学生ボランティア
学童保育所の
見守りボランティア活動



Newボランティア団体
「となりのササエさん」



ボランティア部
手話体験講座



ボランティア部の
初活動

「映画上映会」運営手伝い
ボランティア活動inめくばーる

「出会う・つながる・笑顔になる」
これが「ボランティア活動」です♪

小中学生が「筑前町ボランティア部」が活躍する!!

この夏、ボランティアセンターは、小学5年生〜中学3年生を対象にした「筑前町ボランティア部」を立ち上げ、7月20日(土)に第1回目を行いました。部活動や他の予定もある中、22人のメンバーが参加しました。(全メンバー30人)

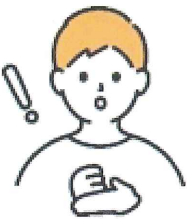
第1回目は、活動を始める前に、「自分のことを知る。一緒に活動する仲間を知る。」ことから始めました。お互いを知るにつれて、最初は緊張していた表情がだんだんと柔らかくなり、笑顔が多く見られるようになりました。その後、ボランティア部の目的や活動の話、町内のボランティア活動を紹介しました。これからの活動に向けて、ボランティアの考え方や、心構えなどを伝え、みんなで「どんなボランティア活動に興味があり、やってみたいか」を考え共有しました。

センターでは、「①学ぶ②考える③実行する(やってみる)④ふりかえる⑤次につなげる」を主体的にメンバーが活動できるようサポートをし、ボランティア依頼にも対応していきます。

みなさんも、新たに立ち上がった「筑前町ボランティア部」の活動を応援、見守っていただけると幸いです。

【筑前町ボランティア部の目的】

- 地域を知り、だれもが安心して暮らせることを目指した活動を自分からすすんでやってみよう。
- ボランティア活動への興味や関心を持つきっかけにしよう。
- 身近にある地域の課題に気づき、解決に向けて考え、協力し合おう。
- 相手への理解や多様性を認め合い、人とのつながりの大切さを学ぼう。



第1回目の活動 7月20日(土)



メンバーの声

お互いを知ることで、少し緊張が和らぎました。これからできる活動に取り組んでいきたいです。



メンバーの感想

いろいろなボランティア活動があることを知りました。これから何をするかまだわからないけれど、子どもに関わる活動をやりたいと思いました。

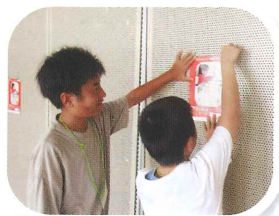
ボランティア依頼対応 8月4日(日)

メンバーが活動を通しての思い・気づき

- 初めての活動で緊張しましたが、楽しくできました。
- いろいろな人と関わりができて良かったです。
- 自分たちにできることがあり、達成感がありました。



「魅力あるまちづくり女性の会」主催の映画上映会で、ボランティア部へ初めての依頼がありました。11人のメンバーが活動に参加しました。地域の人たちが集う上映会では、明るい声の挨拶で出迎え、受付や会場案内、会場準備・片付けなど笑顔で対応していました。



講座を受けての感想

- 初めて自分の名前を指文字で覚え、みんなの前で自己紹介をして緊張しました。何とか伝えることができました。
- 手話は、身振りや表情も大切なことを知りました。
- 自分の名前を指文字で伝えることができてうれしかったです。
- 最初は手話を覚えることが大変だったけれど、覚えるのが楽しくて参加してよかったと思いました。



第2回目は、手話体験講座(3日間)を行い、聴覚に障がいがある人への理解と、言語である「手話」の基本的な会話を学びました。聴覚障害者福祉部会の池田弘文さんと手話の会から講師を迎え、手話で積極的にコミュニケーションを図り、会話を楽しんでいました。

特集
②

ボランティア団体紹介「となりのササエさん」

子育て中だからこそ私たちができることを

会長 久保田 閑那さん
副会長 松田 祥子さん

5月末に新しく団体として立ち上がり、活動を始めた「となりのササエさん」から話を伺いました。子育て中の悩みを同じ保護者に話したことがきっかけで、「自分たちがしてほしい」から、「自分たちができることを始めてみよう」という気持ちになり、活動の一步につながっています。活動を始めるにあたり、「子育てで同じ思いをしている保護者がどのくらいいるのだろうか」と思い、町内の幼稚園と一部の保育園へ子育てアンケート調査を実施し、ニーズ把握から動き出しました。

Q 主な活動内容を聞かせてください。

保育園や幼稚園などの行事があるときの兄弟児見守り活動です。一時預かりが出来ない親子へのサポートとして、子どもも保護者も楽しめるような時間にしてほしいと思っています。見守りをするのは同じ園の保護者や、子育て経験者など誰もが支え合えるような仕組みづくりをしていきたいです。



Q 立ち上げのきっかけを教えてください。

私自身が、子どもの行事があるときにどうしても兄弟児の見守りで困っていました。そんな中、私の地元で行われている見守り活動の思い出し、筑前町に紹介したいという思いから始まりました。

最初は紹介だけでも思っていたところ、活動をしてみたいというアドバイスがあり、今は活動に向けてメンバーと一緒に奮闘しています。



お母さん~! 応援しているよ!

Q これからの活動や思いを教えてください。

アンケート調査の声を聴き、兄弟児の見守りの仕組みづくりを作っていきたいと考えています。その中で、メンバーの意見やこれから出会う人たちとの時間を大切にし、必要だと思った活動があれば取り入れていきます。見守り活動をする人やお願いする人が「無理のない」活動にしたいです。身近にいる心よりどころ「となり」のような存在になればと思っています。

スマホを使ったアンケートにしました!



朝倉光陽高等学校の夏ボラ活動報告

昨年度から夏休みを中心に朝倉光陽高等学校の学生が、さまざまなボランティア活動に参加しています。その中で、学童保育所の子ども見守りボランティア活動に多くの参加がありました。子どもたちとの遊びやふれあいを通して、楽しみながらボランティア活動に取り組む姿は、子どもたちにとっても、楽しく笑顔が絶えない時間になりました。

Q1. ボランティア活動をしようと思ったきっかけを教えてください。

- A. ●子どもと遊ぶのが好きで活動したいと思いました。
 ●兄弟が3人いて、面倒を見るうちに自然と子どもと遊ぶのが好きになり、この活動をやってみたいと思いました。
 ●初めてのボランティア活動で、子どもとの関りに興味があり参加しました。

Q2. 活動に参加してよかったことや学んだことはありますか？

- A. ●活動の中で想定外なことになった際の対応力などを学ぶことができました。
 ●子どもたちのいろんな一面を知ることができ勉強になりました。
 ●子どもたちとのふれあいは、とても楽しいです！



7月19日(金) 講座実施レポート

ボランティアに興味や関心がある人を対象に、「ボランティア入門講座&体験」を実施しました。

ボランティアの考え方や町内で活動しているボランティア活動を身近に感じてもらい、受講後、体験や活動につながるよう進めました。今回の講座をきっかけに、現在の活動に活かす人、体験につながった人もいました。

受講者Voice

- 町ではどんなボランティア活動があるかを知れて良かったです。
- 講座を受けて、子どもの読み聞かせや、動物福祉ボランティア活動に参加したいです。



「災害ボランティア講座」募集のお知らせ



～身近で起こる災害への備えと災害ボランティアの役割や心構えを知る・学ぶ!～

災害時に私たちができる活動や、さまざまな組織・団体のことを知り、平時から防災意識を高めるとともに、人とのつながりの大切さを一緒に学びましょう。

日程 ▶ 9月28日(土) 9:30~12:00 場所 ▶ コスモスプラザ会議室1.2.3 (篠隈373)

定員 ▶ 50人 受講料 ▶ 無料

講師 ▶ 一般社団法人 螢火(ほたるび)・福岡DWAT他

申込み方法 ▶ 窓口・電話(0946-42-4555)・メール・QRコード→

申込み締切 ▶ 9月24日(火)まで



筑前町ボランティアセンター

福岡県朝倉郡筑前町篠隈373
 コスモスプラザ福祉館(筑前町社会福祉協議会内)

TEL:0946-42-4555

FAX:0946-42-5941

ホームページアドレス <https://chikuzen-shakyo.or.jp>

メールアドレス chiiki@chikuzen-shakyo.or.jp

発行編集/社会福祉法人 筑前町社会福祉協議会

